

Agenda : CANoe モデリング トレーニングコース

(概要)

CANoe を使ってシミュレーションモデルを構築するための基礎を実習形式でトレーニングします。通信仕様書からデータベースファイルを作成し、仮想ノードからの入出力をビジュアルに表示するパネルの作成、さらにこのパネルと仮想ノードを連携させるプログラミングまでを、簡単なモデルから車全体まで、受講者のレベルに応じた題材をご用意しております。

尚、このコースでは、CANoe の測定機能や CAPL についての知識が必要となります。ツールを初めてお使いになる方は測定・解析トレーニングや CAPL トレーニングと合わせての受講をご検討ください。

(講義予定)

Panel エディタの詳細

パネルエディタの使い方の基本を説明します。メニューに含まれる機能素子(エレメント)について、実際に操作しながらその機能や設定方法を習得していきます。

データベースファイルの作成

シミュレーションモデルの通信仕様をデータベースで定義します。CANoe に同包されている CANdb++ エディタを使って実習を行います。ランプ ON-OFF シミュレーションにおける CAN 通信仕様 (シグナル、メッセージ、ネットワークノード) の定義、さらに、シミュレーション環境で使う、環境変数の定義を行います。

ランプ ON-OFF シミュレーションの作成

先に作成したデータベースを使用して、スイッチとランプを ECU を使って CAN 通信で ON-OFF させる極めて簡単なモデルを題材に、パネル作成、CAPL プログラミングの順でシミュレーションモデル構築の基本を習得します。

パワーウィンドウ上下シミュレーションの作成

パワーウィンドウをコントロールさせるユニットを追加します。ウィンドウの動作状況をリアルに再現するモデルをデータベースから作成していただきます。

メーター試験モデルの作成

メーターパネルを題材とし、メーターパネルの動作を確認するための試験モデルを作成します。パネルを使用して作成したメーターパネルを使うことで、パネルの各種機能や、それを試験するモデルを作成する事により実際の業務に近い形で CANoe をお使いいただけます。

注) 講義内容は予告無く変更することがあります。